

STAR

ドリームハロー オート装置

取扱説明書・部品表

製品コード K97017
型式 GS25M-HR20

●適応トラクタ
ミツビシ ▶ GS 16/18/20/21/23/25
(MAC仕様) GO 26/28/30/32/34
GOK 26/34
GX 34/37/40/46/50

●適応ドリームハロー
NSM, NSF, NS/08, 10, 20タイプ
NRM, NRF, NR/08, 10, 20タイプ

⚠注意

この製品を安全に、また正しくお使いいただくために、必ずこの取扱説明書をお読みください。

- 間違えた使い方をすると事故を引き起こすおそれがあります。
- お読みになった後は、必ず製品の近くに保管してください。

本製品の使用目的

- このオート装置は、ハローのレーキの動きをセンサーで感知し、その信号をトラクタに伝え、ハローの深さの調節を、トラクタの油圧コントロールでおこない、耕深を一定に規制するものです。使用目的以外の作業には、決して使わないでください。
- オート装置は、決められたトラクタ型式と作業機の型式に合うように設計してあります。それ以外での使用はしないでください。
- 本文中のハローの名称は、ドライブハロー、ウィングハローの両方を示します。

安全に作業をするために

⚠注意

- トラクタの取扱説明書「油圧コントロール」の項をよく読んでください。
- 作業機の取扱説明書をよく読んでください。
- オート装置の調整をするときは、平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢でおこなってください。
- オート装置の調整をするときは、トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO変速レバーを「中立」の位置にしてください。
- オート装置の調整で、作業機を上げ下げするときは、周囲の人や物に注意してください。
- オート装置の調整中に、突然作業機が上下するおそれがあります。十分注意してください。
- トラクタのまわりや作業機との間に、人が入らないようにしてください。
- オート装置の調整がすんだら、適正な工具を使い、確実にボルト・ナット類を締め付けてください。守らないと、傷害事故や機械の損傷につながります。

組立

オート装置の組付けは、部品表を参照して組立ててください。文章中の番号は部品表の番号です。

△注意

●オート装置を組付けるときは、平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢でおこなってください。守らないと、ケガや機械の損傷の原因になります。

●オート装置を組付けるときは、ハローにスタンドを付け、レーキをフリーにしてください。

- (1)土引きハンドルを解除し、レーキをロックしないで代かき作業状態にしてください。
- (2)レーキが他のものにふれていないで、自然に垂れ下がっているようにしてください。

① WAS、HLシリーズのハローは、中央レーキの6ページ図の位置に①止ピンHR8を取付け、②平座金③割りピンで抜け止めをします。③割りピンは⊕の穴へ取付けます。

補足

WBS、WGS、WRS、HVSシリーズのウイングハローおよびHS、HSM、HSF、HR、HRM、HRF、HRHシリーズのドライブハローには、止ピンHR8が装備されています。

② ハローの耕耘部カバー中央より左側にあるカラーキヤップを外し、そこへ④センサ取付台を、⑤ボルト⑥ばね座金で取付けます。

補足

⑦ニューマックセンサー⑧センサベース⑨ボルト⑩平座金⑪ばね座金⑫ナット⑬MACレバーK⑭六角穴付止めねじ⑮ナット⑯平座金⑰E形止め輪⑱小形ボルト⑲ばね座金付小形ナットは、組付けてあります。

③ ⑱プッシュロッド540を①止ピンHR8へ取付け、②割りピンで抜け止めをします。

補足

⑱プッシュロッド540には⑳ロッドタンブラを、㉑平座金㉒小形ナットで組付けてあります。

④ ㉑ロッドタンブラを⑲MACレバーKの下記の穴位置へ取付け、㉒Rピンで抜け止めをします。

WAS WRS-10 型ハロー ⇒ ⊕

H S
HSM
HSF HRH 型ハロー ⇒ ⊕
H R WBS-05
HRM
HRF

H L
WBS-00 型ハロー ⇒ ⊕
WRS-00
WGS

HVS 型ハロー ⇒ ⊕

⑤ ⑦ニューマックセンサーのコネクタへ、⑲ハーネスGSのコネクタを接続します。

調整のしかた

▲注意

- トラクタの取扱説明書「油圧装置の取扱い」の項をよく読んでください。守らないと、ケガや機械の損傷につながります。
- オート装置の調整をするときは、トラクタのエンジンを停止し、メインスイッチを「切」にして、おこなってください。守らないと、ケガや機械の損傷につながります。

オート装置を使用する場合の操作・調整は、トラクタの取扱説明書をよく読み、おこなってください。

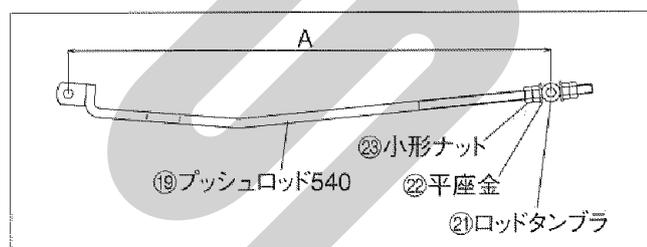
① トラクタにハローを装着します。

ハローの取扱説明書をよく読み、トラクタにハローを装着してください。

- (1)ハローのスタンドを外し、トラクタのポジションコントロールレバーを操作し、ハローのレーキを地面から2～3 cm浮かせ、エンジンを停止します。
- (2)㉔ハーネスGSのコネクタを、トラクタのコネクタに接続します。

② プッシュロッド540の参考長さ

㉑プッシュロッド540の参考長さは、下記の通りです。最終の調整は、「トラクタのスイッチの使い方」の中の「①トラクタとの初期設定」の項で、必ずおこなってください。



A寸法

HVS	型ハロー	435mm
H L		
WBS-00	型ハロー	440mm
WGS		
H S		
HSM		
HSF	WAS	
H R	WRS-00 型ハロー	455mm
HRM		
HRF		
WBS-05	型ハロー	460mm
HRH		
WRS-10	型ハロー	490mm

③ ハーネス長さの調整

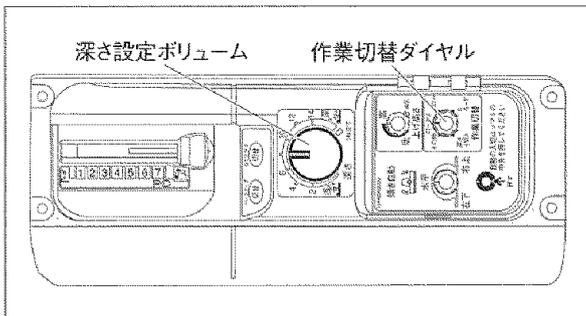
トラクタのエンジンを始動し、ポジションコントロールレバーで、ハローを上下し、㉗ニューマックセンサーのハーネスと㉔ハーネスGSが、車輪やジョイントに巻き込まれたり張り過ぎないように長さを調整し、㉕結束バンドでハローのミッションフレーム部へ止めて、レーキを2～3 cm浮かせ、エンジンを停止します。

トラクタのスイッチの使い方

トラクタの取扱説明書「マイコン装備機の取扱い」の項をよく読み、操作してください。

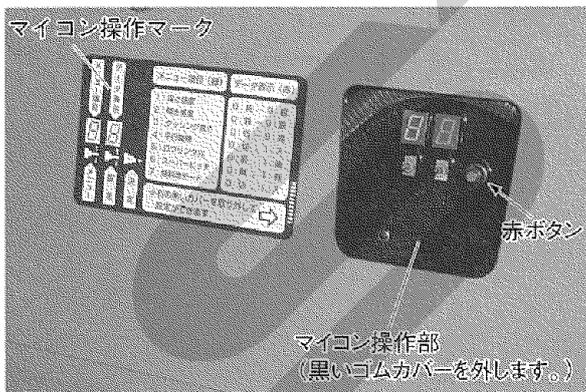
スイッチの名称、配置、形状、調整量は、トラクタにより異なります。トラクタの取扱説明書をよく読み、操作してください。

GS 16/18/20/21/23/25



① トラクタとの初期設定

- (1) 作業切替ダイヤルを「ハロー」にします。
- (2) トラクタの座席後方にある黒のゴムカバーを外し、中にある赤のボタンスイッチを押しながらキースイッチを「入」にします。(エンジンはかけない)



- (3) キースイッチを「入」にし、1~2秒後“ピッ”とブザー音がしたら、赤のボタンスイッチから手を放します。
- (4) トラクタのメータパネルの、深さランプの点滅を確認します。
 - 点滅していれば、設定完了です。
 - 点滅していない場合、⑬MACレバーKが深さランプの点滅する位置にくるように、⑰プッシュロッド540の長さを調整します。
- (5) キースイッチを「切」にし、黒のゴムカバーを元に戻します。

(6) 深さ感度等の調整は、トラクタのサービスマニュアルを参照しておこなってください。

② 下げ速度の調整

トラクタのエンジンを始動します。
ブザーが鳴っている場合は、ブザーの断続音が速くなる方向へゆっくりポジションコントロールレバーを動かし、ブザーを止めます。そしてクイックアップスイッチまたは、ポジションコントロールレバーによりハローを上げ下げし、最上げ位置から約2秒で地面に爪が接地する位に、下げ速度を作業機降下速度調節グリップで調整します。

補足

ロータリで調整してある場合は、そのまま使用してください。

③ 傾斜自動スイッチを「入」にします。

④ 作業開始

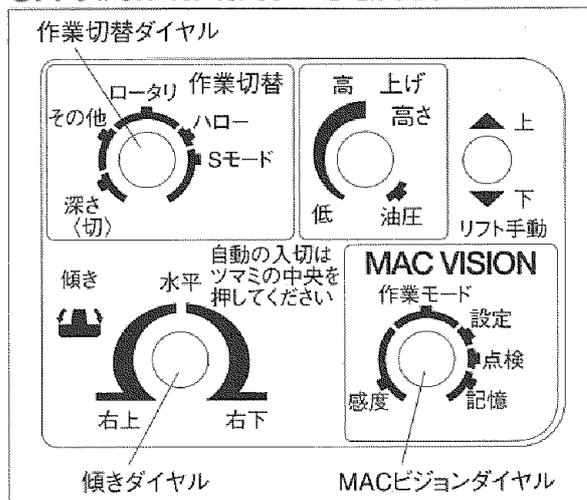
ハローを一度最上げにしてから作業に入ってください。

⑤ 保守・点検整備

作業が終了したら、オート装置の動く部分に注油し、サビを防いでください。

GO 26/28/30/32/34

GX 34/37/40/46/50 GOK 26/34



1 トラクタとの初期設定

- (1) トラクタのサイドパネルのMACビジョンダイヤルを「点検」にします。
- (2) キースイッチを「ON」にします。
(エンジンはかけない)
- (3) トラクタのメータパネルの、「深さ自動ランプ」の点灯を確認します。
 - 点灯していれば設定完了です。
 - 点灯していない場合、⑬MACレバーKを、「深さ自動ランプ」が点灯する位置まで、⑰プッシュロッド540の長さで調節します。
- (4) 設定完了後、いったんキースイッチを「OFF」にします。
- (5) MACビジョンダイヤルを「作業モード」にします。

2 MACビジョンダイヤル

「作業モード」の位置にします。

3 作業切替ダイヤルの位置

「ハロー」の位置にします。

4 耕深感度

「5」に設定します。

補足

ロータリで設定してある場合は、そのまま使用してください。

5 耕深速度

「5」に設定します。

補足

ロータリで設定してある場合は、そのまま使用してください。

6 傾斜感度

「5」に設定します。

7 ダッシング高さ

「5」に設定します。

補足

ロータリで設定してある場合は、そのまま使用してください。

8 自動切替

傾きダイヤルの先端のスイッチを押して、「傾き自動」にします。

9 作業開始

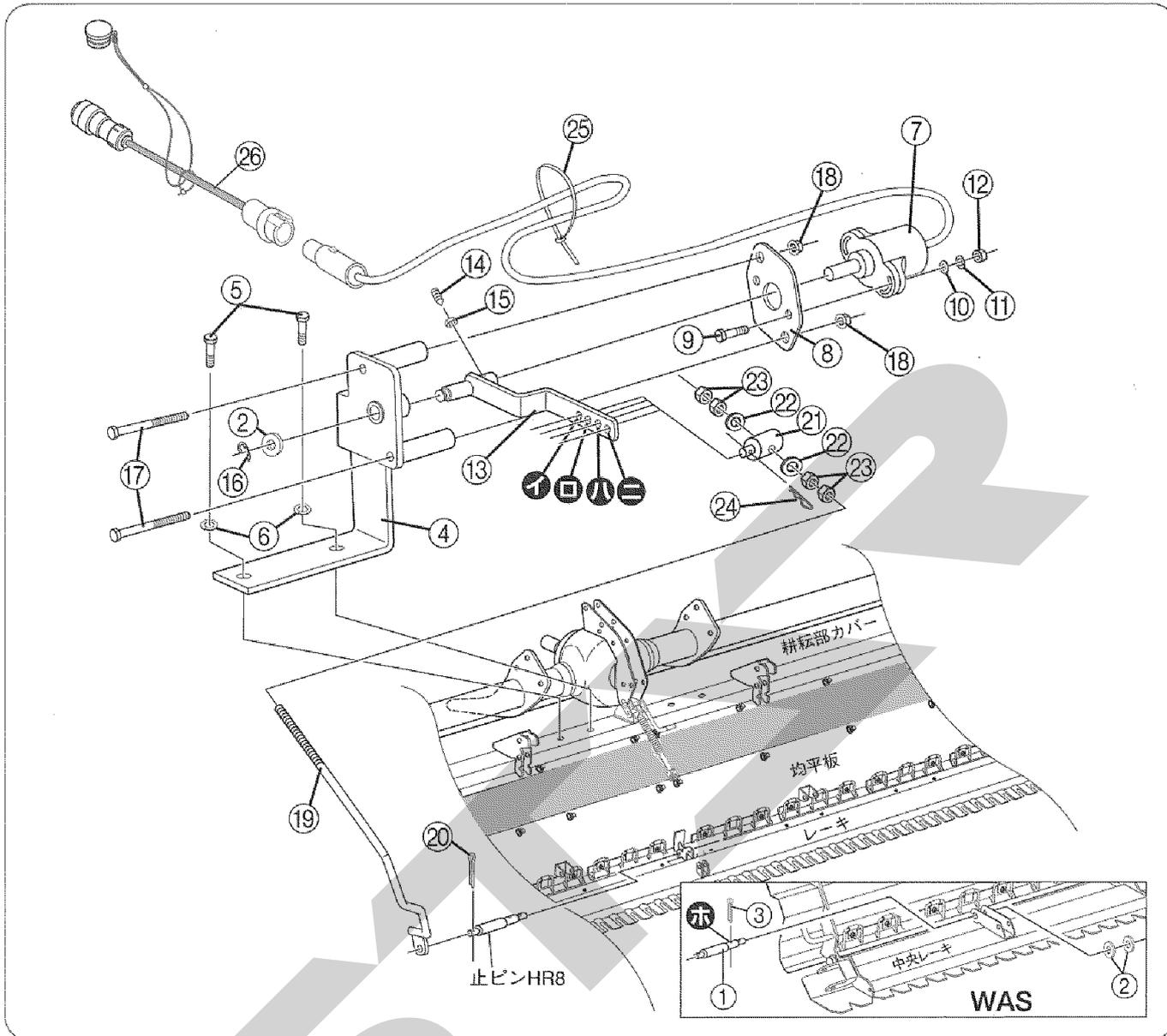
ハローを一度最上げにしてから作業に入ってください。

10 保守・点検整備

作業が終了したら、オート装置の動く部分に注油し、サビを防いでください。

部 品 表

GS25M-HR20



No.	部品番号	部品名	数量	備考	No.	部品番号	部品名	数量	備考
1	4647 121000	止ピンHR8	1		14	0381 005010	六角穴付止めねじ M5×10	1	
2	0930 012000	平座金 M12	3		15	0410 005001	ナット M5	1	
3	0832 103225	割りピン 3.2×25	1		16	0800 300010	E形止め輪 E-10	1	
4	8373 111000	センサ取付台	1		17	0320 008080	小形ボルト M8×80	2	
5	0310 010020	ボルト M10×20	2		18	0490 008001	ばね座金付小形ナット M8	2	
6	0931 010000	ばね座金 M10	2		19	8373 113000	プッシュロッド540	1	
7	5283 080500	ニューマックセンサー	1		20	0832 102520	割りピン 2.5×20	1	
8	3099 102000	センサベース	1		21	5283 010300	ロッドタンブラ	1	
9	0310 006020	ボルト M6×20	2		22	0930 008000	平座金 M8	2	
10	0930 006000	平座金 M6	2		23	0420 008001	小形ナット M8	4	
11	0931 006000	ばね座金 M6	2		24	0832 200008	Rピン A-8	1	
12	0410 006001	ナット M6	2		25	0940 210370	結束バンド PR-370	2	
13	8373 112000	MACレバー-K	1		26	8173 306000	ハーネス GS	1	12051201000

※部品注文の際には、部品番号の頭にESをつけてご注文お願い致します。 例) No.1 ES4647121000